

# 電気関係学会四国支部連合大会自作テンプレート

Original L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X Template of the Shikoku-Section Joint Convention  
of the Institutes of Electrical and Related Engineers

第一著者<sup>1</sup>                      第一著者<sup>2</sup>  
First Author<sup>1</sup>                      Second Author<sup>2</sup>  
(あああ大学<sup>1</sup>, いいい大学<sup>2</sup>)

## 1 まえがき

ああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああ。  
ああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああ。

改行したい時は、空白の行を1行以上あけて書き始めよう。そうすると、自動的に字下げもしてくれるよ。

## 2 従来法

いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい  
いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい  
いい。いいいいいいいいいいいいいいいいいいいい  
いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい  
いい。

%の後に文章はコメントなので原稿には反映されないよ。

図や表の引用は、\refを使おう。表2のように、番号が勝手に引用されるよ。

表 1: 牛丼の値段

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal

式の引用には、\eqrefを使おう。式(1)のように、式番号に()が自動で追加されるよ。

$$\begin{aligned} \mathbf{V}_i^{t+1} &= w\mathbf{V}_i^t + c_1\mathbf{r}_1(\mathbf{P}_i - \mathbf{X}_i^t) + c_2\mathbf{r}_2(\mathbf{P}_g - \mathbf{X}_i^t), \\ \mathbf{X}_i^{t+1} &= \mathbf{X}_i^t + \mathbf{V}_i^{t+1}, \end{aligned} \quad (1)$$

## 3 提案法

ううううううううううううううううううううう  
ううううううううううううううううううううう  
う。うううううううううううううううううううう

ううううううううううううううううううううう  
うう。

四国支部連合大会のタイトル横のスペースは結構厳しいよ。コンパイル PDF 印刷して、空白を定規で測って確認しよう。原稿用紙の上端 30mm、下端 25mm、左端および右端にそれぞれ 18mm の余白が必要だよ。またタイトル欄については、論文番号を記入するために左端 50mm までの間、上端を 45mm にわたり空白を必ず空ける必要があるよ。

## 4 シミュレーション

えええええええええええええええええええええ  
えええええええええええええええええええええ  
え。ええええええええええええええええええええ  
えええええええええええええええええええええ

\vspace や \hspace はできるだけ使わないほうがいいよ。レイアウト調整は、原稿内容が出来上がって、最後にやろうね。

## 5 おわりに

おおおおおおおおおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおお  
おお。おおおおおおおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおお  
おお。

原稿作成は早め早めに取り掛かろうね。一生懸命考えて作り上げたら、文章作成能力がアップするよ。

## 参考文献

[1] H. Matsushita, "LaTeX Template for SJCIIE," *L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X*, 2015.